

令和8年度杉並区立杉並第三小学校学校経営方針(概要版)

学校教育目標 「自分を見つめ 人とつながる」

「自分を見つめ」：自己理解・自己肯定・内省

「人とつながる」：他者理解・関係形成・共生

「自分を大切にできるからこそ、人を大切にできる」

学校経営理念 「『ありがとう』があふれる学校」

児童の安心・安全を礎に一人ひとりの思いに寄り添い、互いに認め合う学校

目指す学校の姿

児童にとっての学校

- ・毎日安心して過ごせる、心と体の居場所となる学校
- ・困ったときに「話していい」「分かってもらえる」と感じられる学校
- ・自分の意見や思いを大切にしてもらえる学校
- ・すべての児童が、違いを認め合い、共に育つ学校

教職員にとっての学校

- ・子どもを肯定的に捉え、可能性を信じて関わる職員集団
- ・授業を大切にし、互いに学び合い、高め合える学校
- ・一人で抱え込まず、気持ちを共有し合える職場

保護者・地域にとっての学校

- ・子どもと保護者の気持ちに寄り添い、信頼される学校
- ・学校の考えや取組が分かりやすく伝わる学校
- ・共に協力しながら、学校を高めていける学校

目指す児童像

- ・様々なことに興味をもち、学び続けることができる児童
- ・自分の考えをもち、他者の考えも尊重できる児童
- ・相手の立場や気持ちを慮る（おもんばかり）ことができる児童
- ・失敗しても立ち上がる力をもつ、レジリエンスの高い児童
- ・自治的な集団の一員として行動できる児童
- ・継続的に体を動かし、体をきたえる児童

重点的に取り組む事項

1 児童の安心・安全の保障

- ・いじめ・不登校・不安の兆しを見逃さない日常的な観察
- ・月1回の簡単な「ふれあいアンケート」による声の把握
- ・行動だけでなく、その背景にある気持ちに目を向けた対応

2 児童に寄り添う指導の実践

- ・指導の前に、まず気持ちを受け止める
- ・児童の「納得」を大切にする
- ・すぐに答えを与えるのではなく、ともに考え、待つ姿勢

3 授業を大切にした学びの充実

- ・授業を学校教育の中心に据える
- ・主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善
- ・基礎基本を身に付けるための学習習慣の定着
- ・多様な評価材を基に児童の力を適切に評価する

4 自治的な児童集団の育成

- ・学級活動を大切にし、自治的な学級づくりを行う
- ・児童の意見を尊重し、話し合いによる決定を重視する
- ・状況に応じて軽重をつけ、指導と見守りを使い分ける

5 チームとしての学校づくり

- ・一人で抱え込まず、組織で児童を支える
- ・教職員同士の気持ちの共感と支え合いを大切にする
- ・教育DXを進め、業務の効率化と学びの質向上を図る
- ・これまでの業務を見直し、働き方について再考する